

わたしたちのまちを良くする**第一歩**を踏み出しませんか？

参加費無料！

遊びに
行くときの
移動手段が
ない

買い物・
通勤に
不便を
感じている

生活圏 交通プランナー 育成プログラム

受講方法 オンライン＋対面形式

日程 2025 9月8日(月)～12月7日(日)
オンライン配信 ※その他の講義日程については裏面参照

場所 JACK大宮ほか
(埼玉県さいたま市大宮区錦町682番地2)

「生活圏交通プランナー育成プログラム」は、身の回りで発生している移動課題を新たな交通を通じて解消するための手法や知識を実践的に学び、実際に生活圏交通サービスを企画する力を身につけるプログラムです。約3か月のプログラムの中で、公共交通の基礎知識や関係者との調整、データ分析やデジタル活用等のスキル獲得を目指します。
忙しい社会人・学生の方にもご参加いただけるよう、オンラインでの受講プログラムも一部ご用意しております！コースの変更も可能ですので、「まずは学習コースからお試しで」という方も是非ご参加ください！

講師



伊藤 みどり 様

●大学卒業後、人工透析の当事者団体である「全国腎臓病協議会」にて、通院支援策の推進を担当。
●2003年より福祉交通支援センターに転職、2006年に全国移動サービスネットワークの事務局長に就任。福祉有償運送や住民主体での移動支援等に関する政策提言や調査研究、相談支援等に携わる。●2024年度より(株)日本能率協会総合研究所職員を兼務。



三重野 真代 様

●武蔵野大学経営学部特任教授／東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット特任准教授／一般財団法人運輸総合研究所客員研究員／グリーンズローモビリティ協議会会長●京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。●2003年、国土交通省に入省し、観光庁観光資源課専門官、国土政策局総務課課長補佐などを経て、2021年から現職。



宮代 陽之 様

●国際経済研究所 非常勤フェロー／JCoMaaS理事／本事業統括アドバイザー●東京大学法学部卒、コロンビア大学MBA。●1983年、トヨタ自動車株式会社に入社、海外営業法務・渉外、広報全般や営業・事業企画などを担当。●2008年より国際経済研究所でモビリティと都市・社会の関係を探し、内外動向調査・分析を行う。現在はMaaSやスマートシティの日本での実装・実践の課題や機会について取り組む。

コース	定員	こんな方におすすめ	申込期限
育成コース	40名 定員を超える申し込みがあった場合抽選となる可能性があります	将来的にまちづくりに関わりたい人や、移動・交通課題について学びたい方 ※育成コースの修了生は、生活圏交通プランナーとして、次年度以降、サービスプランの実現に向けた検討に携わっていただくことを想定しています ※修了条件についてはプログラム紹介ページを参照	9/20(土)まで
学習コース	なし	まずは地域公共交通について学んでみたい方	11/30(日)まで

問合せ先

さいたま市都市局交通政策部交通政策課 ☎048-829-1053

一般財団法人さいたま市都市整備公社 業務企画課 ☎048-645-4439

お申し込み方法：下記URL、もしくは右のQRコードより事前申し込みをお願いします。
申し込み用URL：<https://x.gd/X1gHT>



プログラム
紹介ページ



参加申し込み

各コース内容

コース *1*2	①オンライン講座	②データ分析トレーニング	③フィールドワーク	④グループワーク	⑤シンポジウム
育成コース	○	○	○	○	○
学習コース*3	○	なし	なし	なし	自由参加 (要申込)

*1いずれのコースについても、交通費・食費（食事）の支給はありません。

*2原則、プログラムへ参加される際は公共交通機関等をご利用いただき、自家用車のご利用はお控えください。

*3途中で育成コースへの切り替えも可能です。育成コースへの切り替えは9月20日23:59まで

プログラマー一覧

プログラム	日時・会場	学習概要
① オンライン講座 (詳細は下部参照)	9月8日(月)～順次配信 @Youtubeにて配信	●全5回のオンライン講座を通じて、地域公共交通の課題理解から生活圏の交通を企画することを見据えた関係者の巻き込み、合意形成、連携構築の方法まで、様々な知識をインプットする
② データ分析 トレーニング	9月27日(土) 14:00-16:00 @JACK大宮	●実際に人流データに触れ、地域の移動に関する実態を知る
③ フィールドワーク	モビリティハブ視察 10月5日(日) 午前の部:11:00-12:00 午後の部:13:00-14:00 @hocco 乗車体験:10月から11月の間で 調整中 @北浦和駅	●モビリティ視察では「hocco(武蔵境・桜堤エリア)」、乗車体験ではさいたま市が実証を行う北浦和を訪問し、先進的な取組を進めている現場で実際に触れ体験する
④ グループワーク (サービスプランづくり)	10月1日(水)～12月7日(日) @JACK大宮ほか	●実際の対象エリアとステークホルダーを想定して、事業スキームの構築をグループで検討・考察する
⑤ シンポジウム	12月7日(日) 13:00-16:00 @さいたま市内の会場を予定	●有識者・市民の考えや意見を元に地域交通の在り方について考え理解を深める ●「グループワーク」で検討したサービスプランについて、評価を行う ●「育成コース」の参加者の内、要件を満たした方を対象に修了式を行う

オンライン講座の詳細

回	題 名	講義概要
第1回	地域公共交通の制度と新しい交通モード	●地域公共交通の背景や課題を理解する ●法制度や交通モードの種類、関係者の役割などの基礎知識を身につける
第2回	移動手段とくらしのつながり	●外出・移動がもたらす医療・福祉・経済・教育等への社会的影響を学ぶ ●移動の価値を生活全体からとらえる視点を育てる
第3回	データ活用の基本と実践	●交通課題の把握・分析に役立つデータの種類、可視化の方法、仮説設定と読み取りなどの基本を学ぶ ●課題解決に向けた取組の実践にあたり、どのようなデータが必要か、現場で何を観察すべきかディスカッションする
第4回	地域に合った交通サービスの作り方	●地域特性に応じた交通方式の選定や制度活用、運営体制、連携の視点を学び、持続可能な仕組みを構想する力をつける ●ビジネスモデルに関する知識をつける
第5回	プロデュース力の基本	●関係者の巻き込み、合意形成、連携構築の方法を学び、企画を実現に近づけるためのプロセス設計の視点をもち